

AI司書SHIORI

～AI図書館の描く未来～ 



AI司書SHIORIちゃん



株式会社シビックAI総合研究所

Civic AI Reserch Institute Inc.

みなさん、こんにちは。シビックAI総合研究所と申します。

AI技術が急速に発展する中、図書館という知の拠点がどのように変わっていくのか、また私たちが開発したAI司書「SHIORI」の取り組みを通して、これからの可能性についてお話させていただきます。



Section 1

オープニング：AIへの不安



? AIに対するイメージ・不安

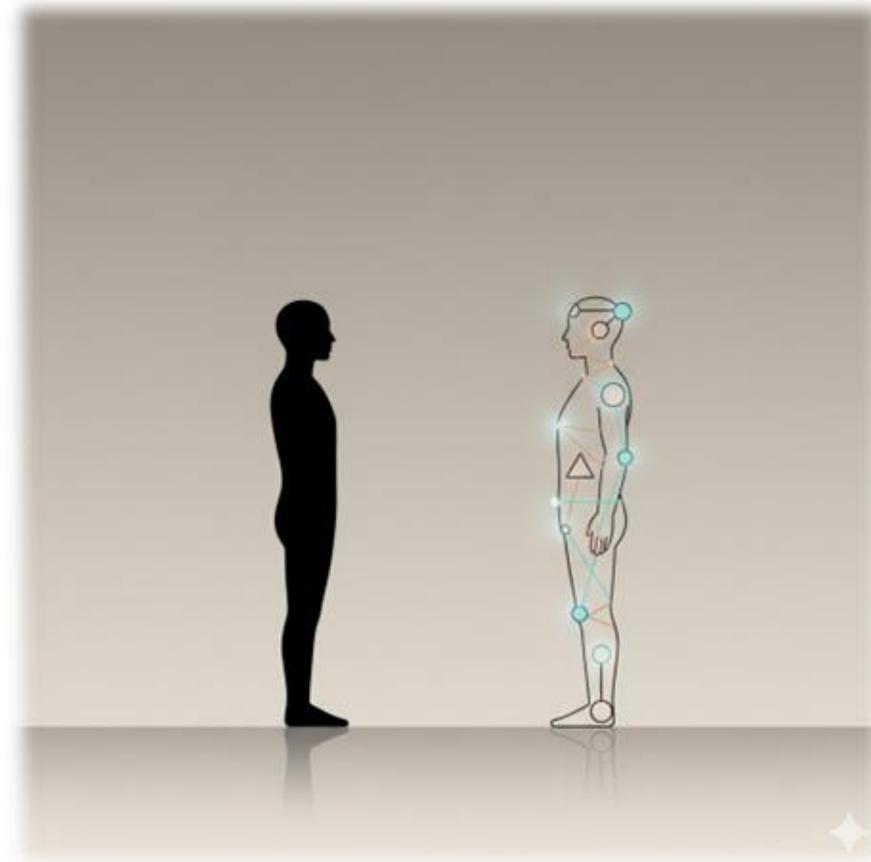
皆さんはAIと聞いて、どのようなイメージをお持ちでしょうか？

「AIが人の仕事を奪うのでは？」

「AIの情報は信頼できるのか？」

「司書の仕事がなくなってしまうのでは？」

こうした不安や疑問を感じている方も多いのではないのでしょうか。



全国の図書館を訪問し、AI司書「SHIORI」を開発・提供する中で、現場から多く寄せられる懸念の声：

- 「AIが司書の仕事を奪ってしまうのではないか」
- 「AIの情報は本当に信頼できるのか」
- 「利用者が司書に相談せず、AIだけに頼るようになるのでは」

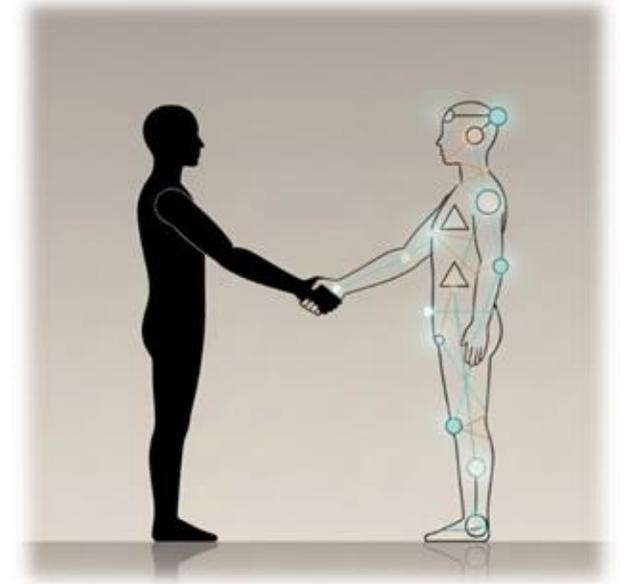


AIに対する不安の声をよく聞きます。しかし…

むしろAIは司書にとって良きパートナーになる可能性があります。

AIが司書の仕事を奪うのではなく、司書の専門性を引き出し、新しい能力を拡張する。

そのような可能性のヒントを、私たちの取り組みを通じてご紹介します。



Section 2



自己紹介：なぜ図書館×AIか

バックグラウンドとAI司書誕生のきっかけ

シビックAI総合研究所 代表取締役 藤村 明人

アビームコンサルティング
データサイエンティストとして
AI研究・DXプロジェクト担当



住友商事

AI研究員として、
各事業部でのAI導入プロジェクト主導



2023年7月 独立
シビックAI総合研究所創業



「本当にAIが必要な業界、まだAIが浸透していない分野にこそ、
AIの可能性を正しく良き方向に適用したい」

AIを正しく良き方向へ
社会実装して
豊かな未来を創造する



💡 AI司書誕生のきっかけ

図書館との出会いは、ChatGPTが話題になり始めた頃でした。

- 一般社団法人Woolly(教育系ベンチャー)の中村が図書館でワークショップを開催

「若者が図書館に来ない。AIと組み合わせて何かできないか？」



この相談から、対話型のAI司書「SHIORI」が誕生
AIという新技術を入り口に、若者と図書館をつなぐ
本との出会いを、もっと気軽に楽しいものにする

AI司書SHIORI を体験しましょう。

図書館で実際に行うワークを
体験していただきました。



やりたいことが見つかる！ここだけが体験できない進路探索イベント
将来のやりたいことを見つけるワークショップを開催！定員15名の限定イベントです。
図書館を舞台に、最先端技術を活用したAI司書SHIORIが進路選択のヒントになる情報を
提供します。参加費を請求しない方もOK！皆さんのご参加お待ちしております。

Section 3

AI司書SHIORIの本質的価値と実績



AI司書「SHIORI」は**単なる検索システムではありません。**
対話を通じて利用者の潜在的な興味・関心を引き出す
OPACでは絶対に見つからない本との出会いを創出
「セレンディピティ」（偶然の幸運な出会い）をAIで意図的に生み出す



OPAC検索

明確な目的がある人向け

例：「村上春樹の新刊が読みたい」

目的が決まっている場合に最適

VS

AI司書 SHIORI

曖昧な気持ちから本を探す人向け

例：「なんか疲れた」「面白い本ない？」

自分でも気づいていない興味との出会い

SHIORIは司書の専門性と競合せず、異なる価値を提供します。

サービス	特徴	提供価値
ChatGPT等の汎用AI	図書館蔵書と連携なし	一般的な質問回答
他社の図書館AI	OPAC検索の拡張	既存利用者の利便性向上
AI司書 SHIORI	対話による興味発見	新規利用者開拓・新たな出会い

役割分担の明確化：

司書：深い知識と経験に基づく専門的レファレンス

SHIORI：対話による意外な発見の提供、セレンディピティの創出

全国ワークショップ展開実績

AI司書「SHIORI」の全国展開状況（2024-2026年）

15+ 実施ワークショップ回数

150+ 累計参加者数

📖 公共図書館（全国10館以上）

🏫 高等学校 2校

🏢 企業研修・セミナー

メディア実績

2025年8月3日：朝日新聞デジタルに掲載

2025年9月11日：朝日新聞紙面に掲載

2025年11月11日：毎日新聞紙面に掲載

司書向けコンテスト特別参加

朝日新聞社



毎日新聞社



導入実績と成果

2024年11月、小田原市立中央図書館「かもめ」でアバター型AI司書の実証実験を実施しました。

7日間の実証実験期間

150名以上の利用者数

多数のメディア掲載

初めての本格導入となった本実験では、AIと図書館の新しい関係性に注目が集まりました。

「図書館×AI」の先進事例として、メディアでも取り上げられ、新しい図書館サービスの可能性を示すことができました。



中野東図書館での本格実証実験

2025年9月13日から10月13日の1ヶ月間、中野東図書館で本格的な実証実験を実施しました。

8階：読書・貸出フロア

本を借りる利用者向けの設置

利用傾向：書籍推薦、ジャンル探索が中心

ピーク時間帯：10時～13時頃



9階：ワーキングスペース

仕事や学習で利用する方向けの設置

利用傾向：専門書や参考資料の検索が多い

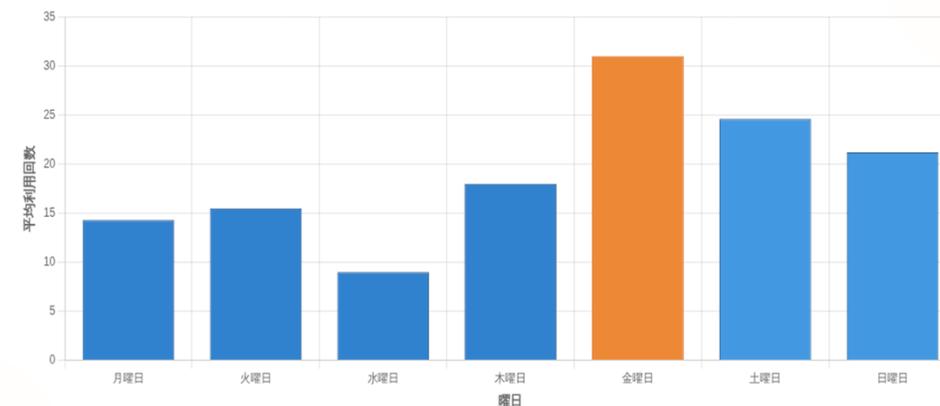
ピーク時間帯：14時～18時頃



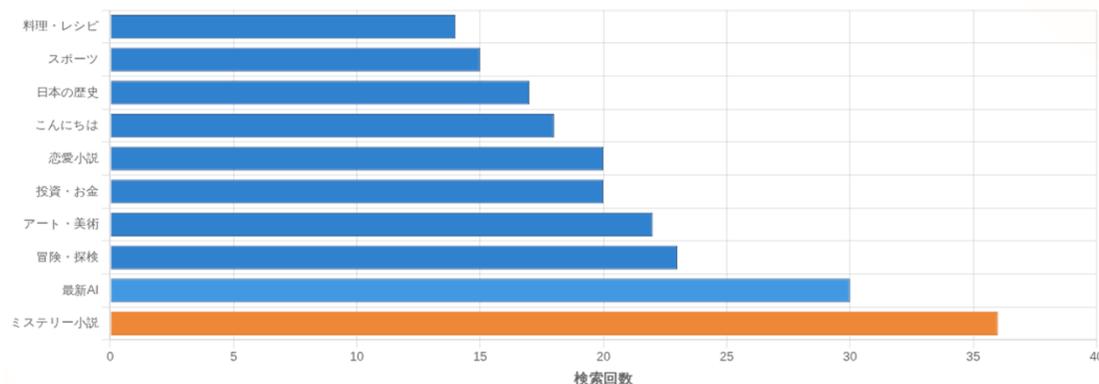
本格実証実験からのデータ

項目	数値	備考
総会話数	636回	30日間の累計
1日平均	21.2回	安定した利用
8階端末	494回 (77.7%)	メイン利用
9階端末	142回 (22.3%)	サブ利用
最多利用日	41回	9月13日 (初日)

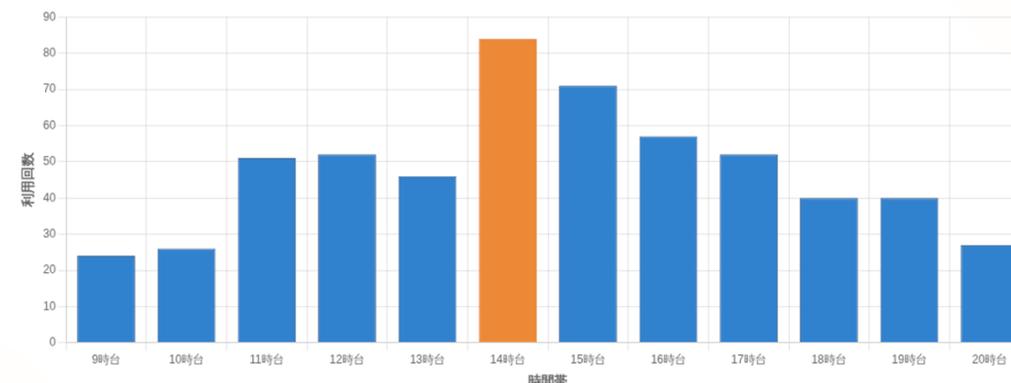
曜日別利用パターン



人気検索キーワードTOP10



時間帯別利用分布



データ活用の可能性

「せっかく企画展示を作っても思ったほど利用されない」という司書の悩みに対し、SHIORIが収集するデータを活用すれば、利用者の本当のニーズに合った選書コーナーや展示の企画が可能になります。

👥 普段本を借りない層へのアプローチ

あえて「普段本を借りない層」をメインターゲットに設定しています。

明確な目的の利用者

OPAC検索を使いこなせる

「村上春樹の新刊」のように具体的に検索

既存のシステムで十分対応可能

曖昧な目的の方々

「なんとなく来た」

「久しぶりに本でも借りようか」

何を借りたいかはっきりしていない



🔍 図書館の新規利用者開拓

📈 図書館利用率の向上

📖 偶然の本との出会いを増やす

Section 4

デモンストレーション

～セレンディピティの創出～



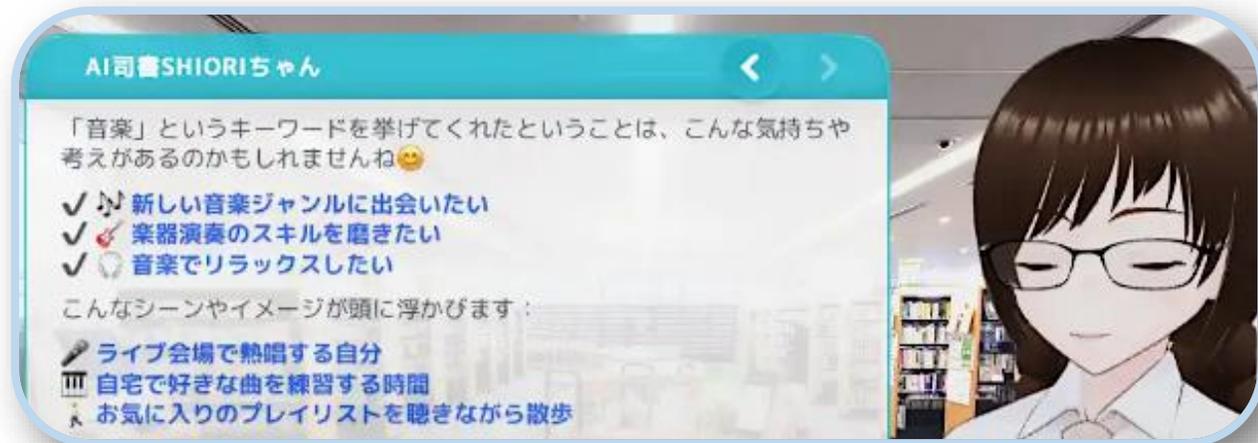
AIとの対話で生まれる「偶然の幸運な出会い」を実際に体験

SHIORIのデモ画面紹介

3Dアバターが利用者と対話しながら本を提案します

- 1 利用者が「音楽」などのキーワードを入力
- 2 AIが応答：「音楽について興味をお持ちなんですね。きっとこんな気持ちがあるのかもしれないね」
「音楽理論の基礎」
「楽器演奏テクニック」
「音楽と心理学」が興味あるのではないのでしょうか？
- 3 対話を通じて興味の方向性を深掘り
- 4 最終的に3冊程度の本を提案し、選定根拠を説明

普段は気づかないような偶然の本との出会いを創出します



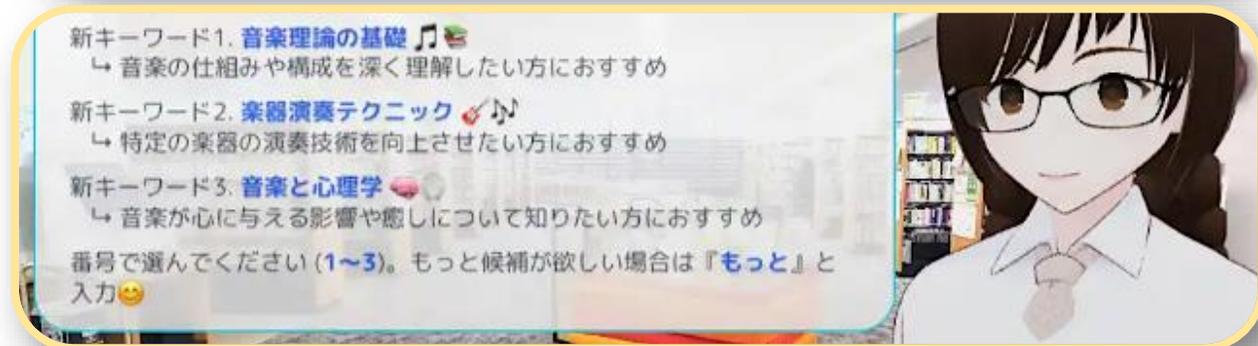
AI司書SHIORIちゃん

「音楽」というキーワードを挙げてくれたということは、こんな気持ちや考えがあるのかもしれないね😊

- ✓🎵 新しい音楽ジャンルに出会いたい
- ✓🎸 楽器演奏のスキルを磨きたい
- ✓🎧 音楽でリラックスしたい

こんなシーンやイメージが頭に浮かびます：

- 🎤 ライブ会場で熱唱する自分
- 🏠 自宅で好きな曲を練習する時間
- 🎧 お気に入りのプレイリストを聴きながら散歩



新キーワード1. 音楽理論の基礎 🎵

↳ 音楽の仕組みや構成を深く理解したい方におすすめ

新キーワード2. 楽器演奏テクニック 🎸

↳ 特定の楽器の演奏技術を向上させたい方におすすめ

新キーワード3. 音楽と心理学 🧠

↳ 音楽が心に与える影響や感しについて知りたい方におすすめ

番号で選んでください(1~3)。もっと候補が欲しい場合は『もっと』と入力😊



📖 書籍名: すぐわかる!4コマ西洋音楽史

👤 著者名: 森本眞由美

📍 所蔵: 中野東図書館

🔗 予約リンク: QRを読み取ってね

📖 **すぐわかる! 4コマの西洋音楽史**
古代-中世-ロック初期

📍 なぜこの本?: 「音楽史」を楽しく、そして「すぐわかる」ように4コマ漫画で解説してくれる一冊です。西洋音楽の歴史と世界史が繋がる感覚を味わいながら、音楽がどのように発展してきたかを知ることができますよ!



SHIORI利用中の様子

収集したSHIORIのデータは図書館運営に様々な価値をもたらします。

🔍 検索キーワードの傾向

上位キーワード：季節・イベント関連の検索が増加

時間帯別の特徴：午前は実用書、夕方は文学・小説

週末と平日で明確な興味の差異が判明

💡 発見された傾向

実はビジネス書と料理本の相関性が高い

15時～17時は中高生の学習関連検索が急増

📌 活用例

特集コーナー企画：検索トレンドを基に効果的な展示を設計

蔵書選定：実際に興味を持たれているジャンルの強化

イベント企画：検索されるが所蔵の少ない分野での講座開催

人員配置最適化：時間帯別の需要に合わせた司書配置

地域ニーズの可視化：自治体施策の参考データとしての活用

収集したデータは自動でグラフで可視化が行われます。エクスポート・加工・分析にお役立ていただけます。



順位	書籍名	紹介回数	ジャンル
1	小説神髓	32回	文学論
2	職業としての小説家	30回	エッセイ
3	小説ころ	30回	文学
4	新・心理学の基礎知識	29回	心理学
5	πの歴史	27回	数学史
6	業物語	25回	文学
7	竹取物語	25回	古典文学
8	恋愛の科学	21回	心理学
9	平家物語	20回	古典文学
10	謎解きミステリー	16回	ミステリー

順位	書籍名	紹介回数	ジャンル
11	ガリバー旅行記	15回	児童文学
12	健康栄養学第3版	12回	実用書
13	短編ミステリーの二百年 2	12回	ミステリー
14	私の文学史	12回	文学論
15	ガリヴァー旅行記	12回	児童文学
16	トム・ソーヤーの冒険	11回	児童文学
17	殺意	11回	ミステリー
18	21世紀版少年少女日本文学館	11回	文学全集
19	トラクターの世界史	11回	歴史
20	サスペンス小説の書き方	10回	創作指南

Section 5

司書の現実と新たな支援機能



現場司書の日常業務

全国の図書館を訪問し、司書の皆様からヒアリングした業務の実態：

日常業務の大半を占める定型対応

「今日は何時まで開いていますか？」（非常に頻繁）

「トイレはどこですか？」（何度も繰り返し）

「コピー機の使い方を教えてください」（毎日多数）

「WiFiのパスワードは？」（頻繁）



本来の専門業務への影響

🔍 レファレンスサービスへの時間不足

📖 専門的な資料紹介が後回しに

👥 利用者との深い対話が困難

「本当は利用者の知的好奇心に応える仕事がしたいのに、日々の定型対応に追われています」

- ある公共図書館の司書より

現場から「定型質問への対応もAIにお願いしたい」という要望から**施設案内機能**を開発中。

インフォメーション機能 (別の図書館での導入を検討中)

- 🕒 開館時間、休館日の案内
- 📍 館内施設の場所案内
- 📖 利用規則の説明
- 🎪 イベント情報の提供

これにより、司書の皆様が本来のレファレンス業務や利用者との深い対話に集中できる環境を作ります。



✂ 実証実験予定（1月下旬@都内某所）

よくある質問を親しみやすいAIアバターが対話型で解決に導きます。
これにより現場の司書やスタッフは本来の専門業務に集中することができます。



Section 6

Ⅷ 複合施設化する図書館の未来

✂ 複合施設が拓く新しい出会い

複合施設化は、単なる効率化ではなく、異なる目的で訪れる人々が偶然図書館と出会うチャンスを生み出します。

☕ カフェ併設の場合

「コーヒーを待つ間に手に取った本が、思わぬ興味を呼び起こす」

👨‍👩‍👧 子育て支援施設併設の場合

「子どもの絵本を借りに来たついでに、自分の趣味の本も見つける」

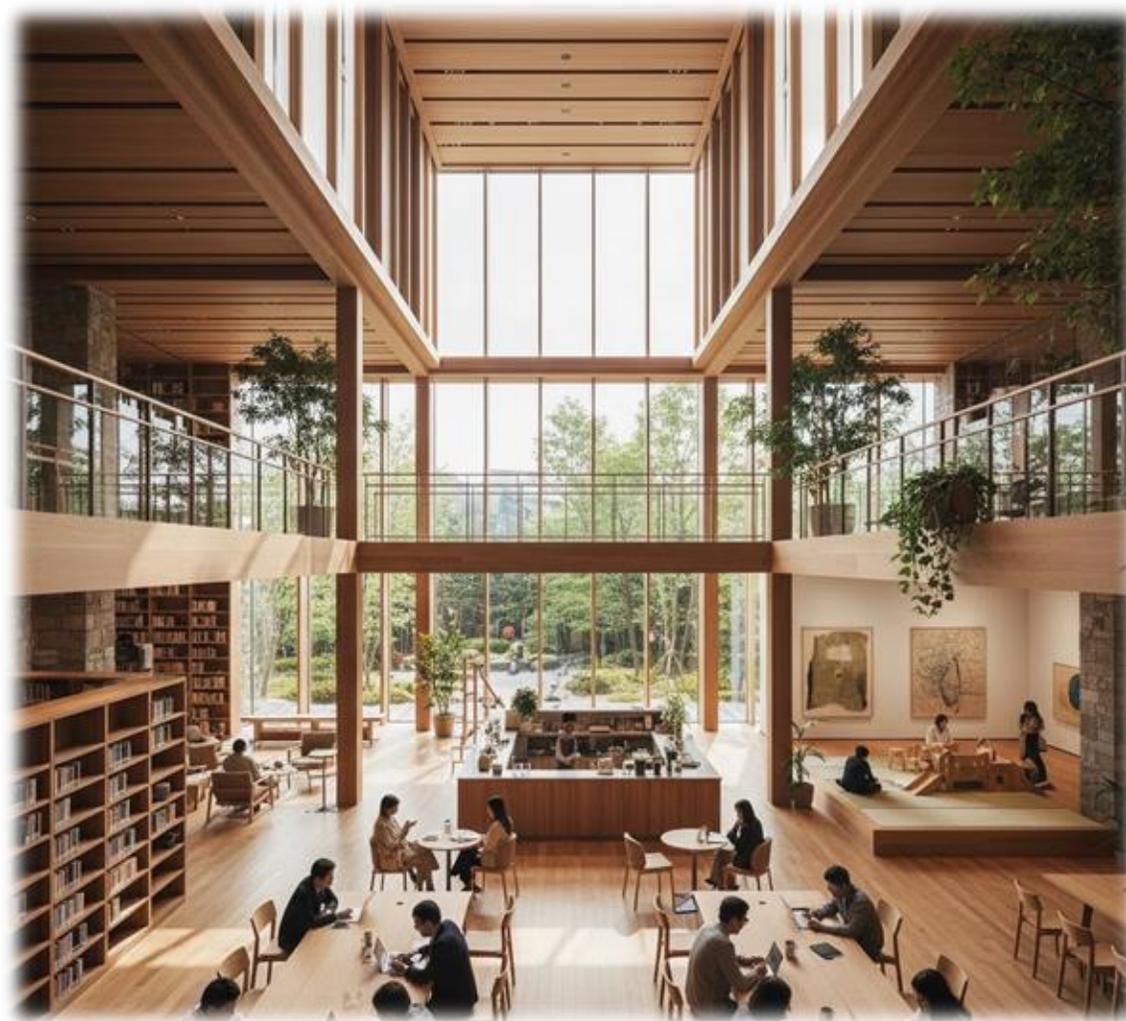
✂ ものづくり工房併設の場合

「工作の参考にと技術書を探しに来て、別の分野の本に出会う」

武蔵野プレイス：図書館×市民活動支援×青少年スタジオ×カフェ

大和市文化創造拠点シリウス：図書館×芸術文化×生涯学習×子育て

岐阜市立中央図書館：図書館×市民活動交流×展示



⚠ 複合施設での新たな課題

複合施設化は、新たな専門外の課題を司書にもたらしています

ものづくり工房併設：「**電動工具の使い方**を教えてください」

美術館併設：「この**技法**について詳しく説明してください」

カフェ併設：「**コーヒーの淹れ方**の本はどこ？ 実演してほしい」

🗣 現場の声

「本の相談と工作相談を同時に受けて対応に困った」

「専門外の質問が増え、レファレンスの質が保てるか不安」



司書の専門性だけではもはや対応できない状況が生まれています。

✂ 複合施設課題への弊社AI応用事例

新潟県三条市の複合施設「まちやま」では、工具レンタル工房「**まちやま工具箱**」を図書館と併設しています

100種類以上の工具を貸し出していますが、図書館スタッフに工具に関する専門的な質問が寄せられる課題がありました

- 「この工具はどう使えばいいですか？」
- 「棚を作りたいのですが、どの工具を使えばいいですか？」



三條で生まれた道具の図書館
**まちやま
工具箱**

工具箱で貸出します

道具や工具を
借りてみよう

-借り方-

- 1 ボードから、借り
たい道具のカード
を選びます
- 2 1階カウンターに
借りたい道具のカ
ードと図書カード
を出し、手続き・
誓約書の記入を行
います。
- 3 専用ボックスに入
った道具を受け取
ります。(返却時
アンケートをご協
力お願いします)

貸出し 1週間

start
6月1日(木)
15:00~

対象・三条市立図書館の利用カードを
お持ちの19歳以上の方

貸出し時間・9:30~20:00
貸出し点数・1点
貸出し期間・1週間

まちやま

✂ 複合施設課題への弊社AI応用事例

2025年10月より「**工具アドバイザーしおり**(見習い中)」を導入しました。

対話を通じて経験レベルを確認し、最適な工具セットを提案することで、司書は本来業務に集中でき、利用者も的確なアドバイスを受けられるようになりました



「まちやま」事例に学ぶ：AI「しおり」構築のための開発プロセスと必要なインプット作業



Section 7

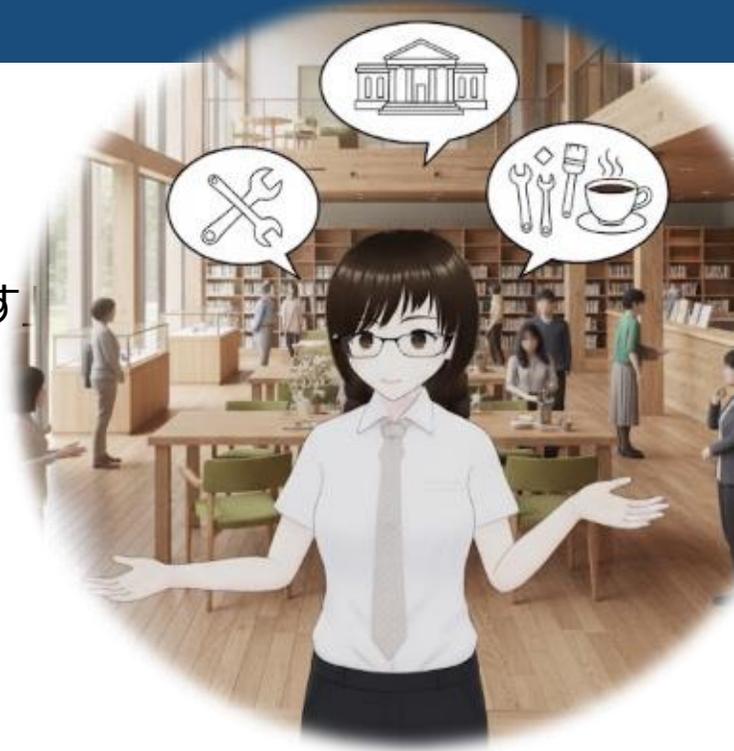
地域をつなぐAIの将来構想



品「地域全体をつなぐAI」構想

複合施設内のAI活用から、施設の枠を超えた地域連携へ

- 📖 **歴史の本** を借りた人に → 「この本に関連する特別展が、**郷土資料館** で開催中です」
- 🔧 **工作の本** を探している人に → 「実際に工具を使える **まちやま工房** もありますよ」
- 👨‍👩‍👧 **育児書** を借りた人に → 「来週、**子育て支援センター** で関連イベントがあります」



図書館のAIが地域の情報ハブとなり、文化施設、教育施設、コミュニティ施設をつなぐ。本を起点に、リアルな体験へと人々を導く構想です。現在は構想段階ですが、複数の自治体から関心をいただいています。



Section8

教育分野への新展開：大学図書館



大学図書館での新しいAI活用

現状の深刻な課題

ChatGPTで論文を書く学生が増加

コピペチェッカーでも検出困難

学習効果の低下が懸念される



SHIORIが提供する解決策

「AIで論文を書く」のではなく「AIで良質な論文を探す」

学生がSHIORIと対話することで

- ☑ 自分の研究テーマが明確になる
- ☑ 見落としていた重要文献を発見
- ☑ 新しい視点や方法論に出会う

結果として、**オリジナリティの高い論文**が書ける



🏠 学生の「探せない」を「見つかる」に変える

📖 学生が直面する課題

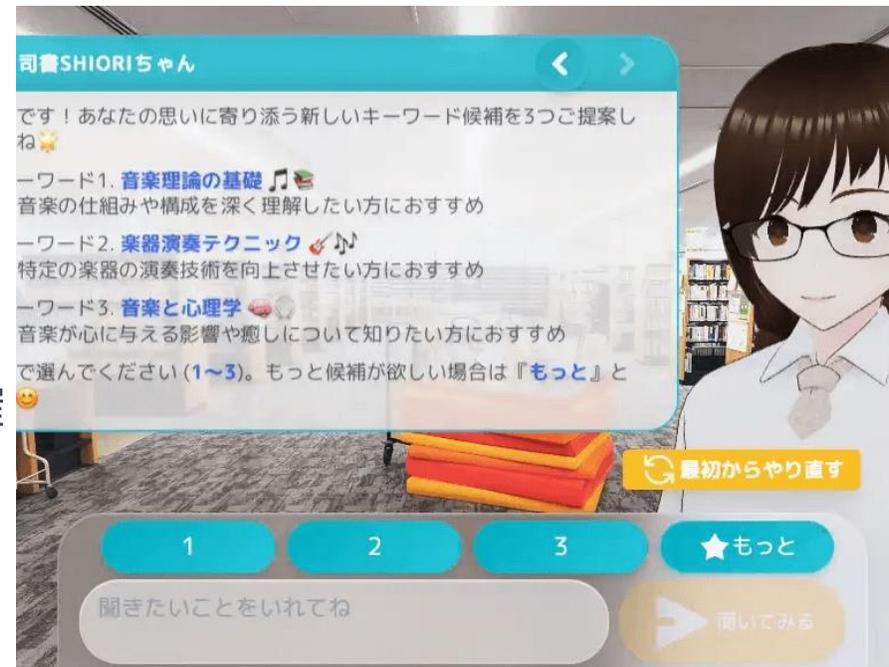
図書館の閉館後も文献を探したい
どの資料から探せばいいかわからない
24時間いつでも相談できる環境が欲しい

🔍 従来の検索の限界

「世界遺産」と検索しても、歴史・建築・保護活動なのか曖昧
「アジア文学」では、歴史・言語・作家のどれを求めているかわからない
キーワード検索では本当に求めている本にたどり着けない

📖 AI司書SHIORIだけの解決策

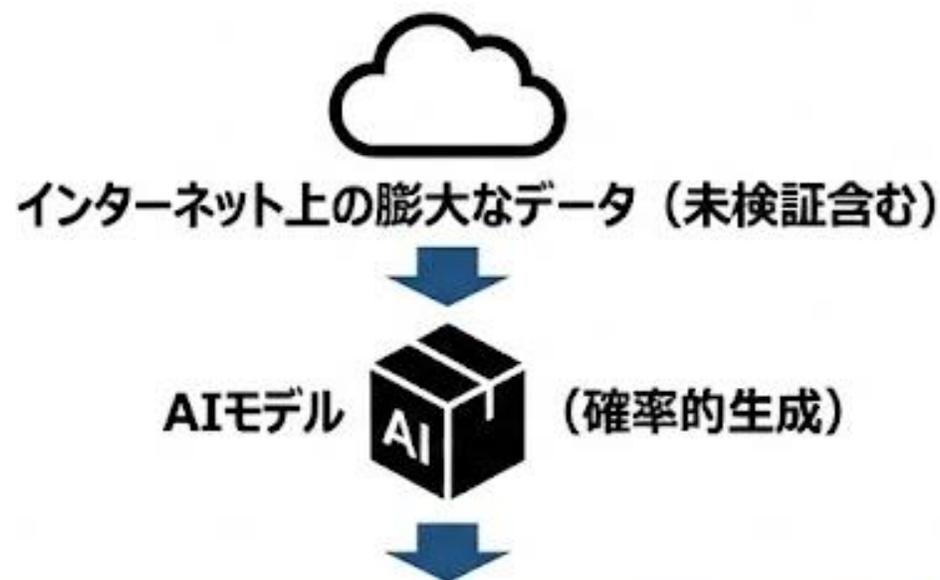
「図書館の優しい司書さん」AIアバターが24時間対応
↳ ChatGPTにはない親しみやすさで、学生が気軽に相談
対話を通じて本当に必要な資料と一緒に探す
曖昧な「世界遺産について」→「建築様式の比較研究」へと導く
学生が気づかなかった視点からの資料も提案



AI司書SHIORIが学生の質問に対して最適な本を推薦

大学図書館向けAI活用：ハルシネーションへの技術的対策と信頼性の担保

一般的な生成AIの課題：
『もっともらしい嘘』のリスク



- 出典が曖昧で検証困難
- ハルシネーション（事実に基づかない生成）が起こりやすい
- 学術利用にはリスクが高い

VS

弊社AIサービスの解決策：
根拠に基づく『信頼できる回答』



- 信頼できる情報源のみを参照・検索
- 出典（論文名、ページ、行、URL）を明記
- 利用者が原典にあたって検証可能（Verification）

大学版SHIORIの機能・活用例

大学版SHIORIの特別機能：

🔍 論文検索・推薦機能

📄 執筆者の最新研究追跡

🔗 引用文献の関連性マッピング

👤 研究テーマの類似研究者紹介

「これは単なる検索システムではない。学生の思考を深めるツールだ」
- 都内私立大学 関係者様より

都内私立大学（文学部の歴史文化学科）をはじめ、複数の大学図書館が導入検討中。
特に理工系大学を中心に、学習支援ツールとしての活用が期待されています。



大学図書館への導入のメリット

大学・図書館・学生、それぞれにメリットをもたらします

1. 大学：教育DXの実現

教育の質向上による大学ブランド力の強化
他大学との差別化（AIアバター活用の先進事例）
初期投資不要のクラウドサービス

2. 図書館：サービスの拡充

閉館時間後も学生サポートを継続
蓄積データによる利用動向の把握
既存システムとの簡単な連携（ポータルにリンク追加のみ）

3. 学生：学習環境の向上

24時間365日いつでもAI文献検索が可能
より多様な文献へのアクセスによるレポートの質向上
気軽に相談できるAIアバターの存在

3者連携による好循環



大学の特色を活かした独自AIサービスへ

👤 研究者対話AI（構想段階）



論文著者のAIアバターを生成
「なぜこの研究を始めたの？」といった質問が可能
複数の研究者の視点を比較検討

💡 学生の研究へのモチベーション向上に貢献

🎤 オーラルヒストリーAI（構想段階）



音声記録・インタビューの文字起こしデータを活用
戦争体験者や地域の語り部との対話型アーカイブ
観光歴史学研究との連携可能性

ℹ️ これらは構想段階であり、大学様のニーズに合わせて企画・開発

大学DXで直面しがちな課題（仮説）

これは我々の経験に基づく仮説です。皆様の現場でのご実感をお聞かせください。
本日最も議論したいのは「今、最も痛い課題はどこか？」という一点です。



学生

情報過多による「探せない」「選べない」「学びが続かない」。レポート作成でのAIの不適切な利用リスク。

教員

AI時代に対応した授業設計、評価方法、学術倫理の指導といった新たな業務負担の増大。



職員

定型的な問い合わせ、手続き案内への対応に時間が割かれ、本来注力すべき企画業務が進まない。

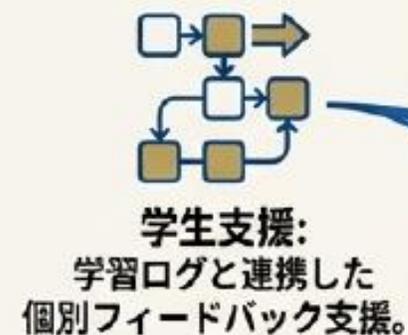
図書館

レファレンス業務の負荷増大、多様化する電子資料の活用促進、学生へのAIリテラシー教育の必要性。



全体構想：図書館を大学全体の「DXハブ」として再定義する

全学部に横断的に関わる図書館は、DX施策の理想的な出発点です。
ここでの成功体験が、全学的なイノベーションへと波及します。



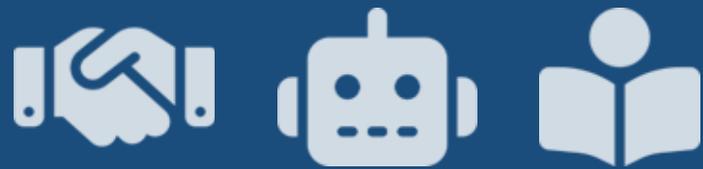
大学図書館

起点 (Phase 1):
AI司書による検索・レファレンス支援、
AIリテラシー教育の拠点化
からスタート。



Section 9

AIと司書が共創する未来



AIは司書の仕事を奪いません。むしろ、**司書の価値を最大化**します。

≡ 司書の負荷軽減

定型業務の削減
クレーム対応の精神的負担軽減
残業時間の削減に貢献

🌱 司書能力拡張

専門知識を活かせる時間の増加
より深いレファレンスが可能に
利用者との対話の質が向上

👥 地域の活性化

施設間の連携強化
新規利用者の開拓
地域コミュニティの形成



私たちの考える図書館の未来： 司書と共に成長し、図書館の新しい価値を創造する

Section 10

■ クロージング：次のアクションへ

～具体的な導入ステップとお問い合わせ～

♥ 最後のメッセージ

図書館は、日本の知的インフラです。しかし、多くの課題を抱えています。

AIは敵でも脅威でもありません。
正しく使えば、司書の味方になります。

今日お伝えしたかったのは、AIと図書館の可能性です。
皆様の現場の声を、ぜひお聞かせください。

司書さんの負荷を減らし、能力を拡張し、地域をつなぐ。
この未来を、一緒に作りませんか？

シビックAI総合研究所 代表取締役 藤村明人

✉ Email: afujimura@civicai.co.jp

🌐 Web: <https://civicai.co.jp/>



? 想定Q&A

よくいただくご質問とその回答をまとめました。その他のご質問は弊社HPからお問い合わせください。

Q 導入コストはどれくらい？

図書館の規模により異なりますが、お試し導入から段階的に始めることが可能です。詳細な費用は個別にご相談ください。

Q プライバシー対応は？

個人情報は一切取得せず、対話履歴も匿名化して統計利用のみです。総務省のAI利活用ガイドラインに準拠し、自治体のセキュリティポリシーに合わせた調整も可能です。

Q サポート体制は？

運用マニュアル提供、定期アップデート、リモートサポートを基本とし、必要に応じて現地サポートも対応します。導入後も安心してご利用いただけます。

Q 既存システムとの連携は？

主要な図書館システムとのAPI連携実績があります。OPAC連携などの最小限の機能からスタートすることも可能です。

Q カスタマイズは可能？

キャラクター、話し方、推薦ロジックなど、貴館のニーズに合わせた調整が可能です。地域特性や館の特色を反映したAIにカスタマイズできます。

Q ITに詳しくなくても大丈夫？

設定はすべて弊社が行います。電源を入れるだけで使えるシンプルな操作性を実現。IT知識がなくても安心して導入いただけます。